

主な考え方モンスター別構成一覽

A 数と計算

B 図形

C 測定

D 変化と関係

E データの活用

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
ヒトツツ 	<ul style="list-style-type: none"> 10を1つ分として数を表したり、計算したりする。 1つ分(任意単位)を決めて、長さやかさ、広さを比べる。 	<ul style="list-style-type: none"> 10や100, それぞれの位を1つ分として数を表したり、計算したりする。 等分した1つ分をもとに分数で表す。 1つ分(普遍単位)を決めて、時刻や時間、長さ、かさなどを数で表す。 	<ul style="list-style-type: none"> 10や100, それぞれの位を1つ分として整数や小数、分数を表したり、計算したりする。 1つ分(普遍単位)を決めて、長さや重さなどを数で表す。 棒グラフの1目盛りを1つ分と考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 10や1000などを1つ分として、1つの数をいろいろな表し方で表す。 10や0.1, 単位分数などを1つ分として、数に表したり計算したりする。 1°を1つ分として、角の大きさを表す。 1cm², 1m²などを1つ分として、面積を表す。 	<ul style="list-style-type: none"> 10や0.1, 単位分数などを1つ分として、数に表したり計算したりする。 1cm³, 1m³などを1つ分として、体積を表す。 単位量あたりの大きさを求めて、こみぐあいなどを比較する。 もとにする量を1として、比べられる量の大きさを割合で表す。 	<ul style="list-style-type: none"> 分数の乗除を、単位分数を1つ分として計算する。 1つ分を決め、2つの量がそれぞれいくつ分かを考えて、その関係を比で表す。
マトメール 	<ul style="list-style-type: none"> 10ずつにまとめて数える。 似ている形で分類する。 	<ul style="list-style-type: none"> 10のまとまりやばらをそれぞれまとめて計算する。 形の特徴によって、長方形や正方形、直角三角形に分類する。 調べたいことを表やグラフにまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> 辺の長さに着目して、三角形を分類する。 結果をわかりやすくするために、調べたいことを表やグラフにまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな見方で、四角形を分類する。 面の形で、直方体や立方体に分類する。 結果をわかりやすくするために、2次元表を使ってまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> 数の性質に着目して、整数を分類する。 辺の数や角の大きさを表にまとめて、正多角形の性質を見つける。 角柱の特徴を表にまとめて、その性質を見つける。 	<ul style="list-style-type: none"> 今まで学習した図形を線対称や点対称の視点でまとめる。 角柱や円柱の体積はどれも(底面積)×(高さ)でまとめられることを見つける。
ベツアラフシ 	<ul style="list-style-type: none"> 数や問題をブロックや絵、式で表す。 長さなどをテープに置き換える。 	<ul style="list-style-type: none"> 図を使って、場面を把握したり、計算したりする。 数の見方を変えて、表し方を変える。 時刻や時間を時計の図や数直線で表す。 調べたいことを表やグラフに表して整理する。 	<ul style="list-style-type: none"> 問題文を、図やことばの式などで表す。 時刻や時間を時計の図や数直線で表す。 調べたいことを表や棒グラフで表す。 	<ul style="list-style-type: none"> 目的に応じて概数で表す。 ()などを使い、1つの式に表す。 直方体や立方体を展開図で表す。 調べたいことを表や折れ線グラフで表す。 	<ul style="list-style-type: none"> 商を分数の形で表す。 割合を求める式の表し方を変えて、比べられる量やもとにする量を求める式をつくる。 目的に合わせて、割合を円グラフや帯グラフで表す。 	<ul style="list-style-type: none"> わからない数は文字を使って、数や量の関係を式に表す。 問題を図や数直線に表して、計算のしかたを考える。 比例関係にある量を表や式、グラフに表す。 データを代表値やドットプロット、柱状グラフなどで表す。 表や図におきかえて、落ちや重なりがないように整理する。
ソロエ 	<ul style="list-style-type: none"> 端をそろえて長さや広さを比べる。 データの数を比較するとき、カードなどの大きさをそろえて比べる。 	<ul style="list-style-type: none"> 位をそろえて書いて、数の大小を比べたり、加減の筆算をしたりする。 もとにする長さをそろえて(任意単位を決めて)比較する。 	<ul style="list-style-type: none"> 乗法の筆算や、小数の加減の筆算も、縦に位をそろえて計算する。 同じ単位をそろえて、時間や長さの計算をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 小数でも位をそろえて書いて、大きさの比較や計算をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 異分母分数の分母をそろえて、大きさを比べる。 整数、分数、小数が混じっているときは、分数か小数にそろえて、大きさを比べる。 2つの量のどちらか一方にそろえて比べる。 もとにする量の1をそろえて、割合で比べる。 	<ul style="list-style-type: none"> 整数、小数、分数が混じった計算では、分数にそろえて計算する。 比の値をそろえて、等しい比を見つける。

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
 ワツケル	<ul style="list-style-type: none"> 1つの数を、2つの数に分ける。 2位数の加法や減法を、位で分けて計算する。 	<ul style="list-style-type: none"> 10のまとまりとばらを分けて考える。 被乗数を分けて、大きい数の段の九九の答えを見つける。 四角形に1本の直線を引いて、三角形や四角形など、2つの形に分ける。 同じ項目ごとに分けて表に表す。 	<ul style="list-style-type: none"> 桁数の多い乗法も、被乗数や乗数を分けて、答えを求める。 	<ul style="list-style-type: none"> 被除数が大きくても、位ごとに分けて計算する。 180°以上の角度を、180°といくつのように分けて考える。 複合図形では、正方形や長方形などに分けて、面積を求める。 	<ul style="list-style-type: none"> 複合立体の求積では、倍積や分割などの方法で体積を求める。 全体の量をまとめてから、個数で分けることで、平均を求める。 	<ul style="list-style-type: none"> 帯分数を、整数部分と分数部分に分けて考えて、およその値を求める。 図を分けて、今までに学習した形に変えることで、円の面積を求める。
 カエカエ	<ul style="list-style-type: none"> 任意単位の大きさを変えると、いくつ分にあたるかが変わることに気づく。 	<ul style="list-style-type: none"> 被乗数の分け方を変えても積は同じになることを見つける。 	<ul style="list-style-type: none"> 除法の答えを、いろいろな数値を当てはめて考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 被除数や除数を変えて、除法のきまりを見つける。 きまりが成り立つことを、いろいろ数で確かめる。 	<ul style="list-style-type: none"> 今までに学習した形に形を変えて、いろいろな図形の面積を求める。 	<ul style="list-style-type: none"> 今までに学習した形に変えて、円の面積を求める。
 キマリン	<ul style="list-style-type: none"> 計算カードを順番に並べて、きまりを見つける。 	<ul style="list-style-type: none"> 帰納的に加法や減法のきまりを見つける。 帰納的に乗法のきまりを見つける。 箱の形で、面、辺、頂点のきまりを見つける。 	<ul style="list-style-type: none"> 交換、結合法則や分配法則を使って、大きい数の乗法を考える。 結合法則を使って、乗法の暗算をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 整数や小数の四則で、計算のきまりを使って工夫して計算する。 ともなう変わる量を表に表して、きまりを見つける。 	<ul style="list-style-type: none"> 10倍すると小数点を右へ1桁、$\frac{1}{10}$にすると小数点を左へ1桁移した数になるきまりを見つける。 小数の乗法でも、計算のきまりが成り立つことを見つける。 多角形の角の大きさの和のきまりを見つける。 面積の公式を利用する。 直径と円周の間のきまりを見つける。 ともなう変わる2つの量の変り方のきまりを見つける。 	<ul style="list-style-type: none"> 計算のきまりを使って、これまで学習した計算になおす。 正多角形の対称性についてのきまりを見つける。 比のきまりを使って、簡単な比で表す。
 オナジン	<ul style="list-style-type: none"> 長さ、かさ、広さを、1つ分を決めて、同じように数に表して比べる。 	<ul style="list-style-type: none"> 1年生のときの加減と同じように、繰り上がりや繰り下がりを考えて計算する。 乗法のきまりを見つけ、それがほかの数でも同じように成り立つと考え、新しい九九を作る。 長さもかさも、10個集めると同じように単位が変わる。 	<ul style="list-style-type: none"> 等分除、包含除のどちらも、同じようにわり算で求める。 これまでと同じように、位の数が10個集めると位が変わる。 桁数の多い整数や、小数、分数も、これまでと同じように計算する。 円と球には同じような関係があることに気づく。 ある単位を基準に考えると、単位間に同じような関係があることに気づく。 	<ul style="list-style-type: none"> どんなに大きい数や小数でも、同じように十進位取り記数法で表されていることに気づく。 小数の四則や、分数の加減でも、整数と同じように計算する。 	<ul style="list-style-type: none"> 小数どうしの乗除は、きまりを使って整数になおして、整数の計算と同じようにする。 異分母分数の加減を、通分してこれまでと同じように計算する。 面積と同じような考え方で、体積を求める。 今まで学習した倍の考えと同じように考えて、割合を求める。 	<ul style="list-style-type: none"> 分数の乗除も、計算のきまりを使って整数の計算と同じように考える。 円の面積と同じような考え方で、円柱の体積を求める。
 ナーゼ	<ul style="list-style-type: none"> 計算方法をどのように考えたのか説明する。 	<ul style="list-style-type: none"> 問題文から正しい計算を判断し、その理由を説明する。 なぜ三角形や四角形といえるのか、その理由を説明する。 	<ul style="list-style-type: none"> 除法のあまりの処理で、目的に応じて理由を考えて求める。 計算の誤りを説明する。 なぜ円といえるのか、その理由を性質に基づいて説明する。 	<ul style="list-style-type: none"> 除法で、商やあまりが正しいかどうかを、答えの確かめを使って説明する。 	<ul style="list-style-type: none"> なぜ合同になるのか、なぜ合同な三角形をかくことができるのか説明する。 多角形の角の大きさの和が何度になるか説明する。 ともなう変わる2量が比例といえるかどうか説明する。 こみぐあいなどの比べ方を説明する。 	<ul style="list-style-type: none"> 分数をかける、分数でわるとはどういうことか説明する。 線対称や点対称な図形の性質をもとに、それらの図がかける理由を説明する。 拡大図や縮図の性質を使って説明する。